

1. JR利用促進に関する意見について

- ①交通系ICカード等の導入(決済方法の多様化。徳島バスと共通で使用できるもの。)
- ②ホテルや商業施設とコラボし、付加価値を付けた周遊券等の販売
- ③サイクルレインの導入若しくは貨物列車への自転車の積載対応
- ④終電時間の延長(午後10時台の便が必要)
- ⑤車両の装飾(鳴門に因んだイラストなど)
- ⑥沿線小学校との連携(小学校のオーナー化、発車メロディー作成など)
- ⑦池谷駅での乗り換えによる待ち時間の縮減
- ⑧車内でのアーティストによる音楽ライブ
- ⑨各駅で地域に因んだ食材を使った駅弁の販売
- ⑩鎌倉の「江ノ電」のような観光スポット化
- ⑪昼間のダイヤ改善(列車待ち合わせ時間の縮減)

2. 駅舎に関する意見について

- ①トイレの整備(市や地域などとの連携、ジェンダーに配慮、災害時対応など)
- ②待ち時間での駅舎の活用(Wi-Fi整備、自習スペースの確保など)
- ③インスタ映えスポット等の整備(ポケふた、地元の魅力発信に繋がるものなど)
- ④駅舎を文化財として保存し、観光目的による活用

3. 市への要望について

- ①駅と高速バス間の2次交通の整備(路線バスや自転車)
- ②県内高校の学区制の廃止
- ③鳴門線沿線の歴史に関するPR
- ④香川県の「うどん県」のように鳴門市のPR促進
- ⑤JRと友好的な関係を築き、他市町や県等の関係機関と連携していくことが大事
- ⑥「駅からいける場所」や「駅から見える風景」を情報として集約化し、発信する
- ⑦鳴門駅周辺の再開発

4. その他

- ①利用者が減っている要因の洗い出し
- ②JRは地域と地域を繋ぐ核の役割を持っており、路線の存在は地元への愛着に繋がる
- ③JR所有敷地の民間への貸与の検討
- ④「徳島—鳴門線」と「池谷—鳴門線」では利用者数に大きな違いがあるため、営業係数等の数値を出す際にはその点を考慮して欲しい
- ⑤沿線の雑木の管理(自治体とJRが連携)
- ⑥2024年の物流改革への対応(撫養港整備など)